栄養系デルフィニウム「フォルカフレーデン」の低コストな挿し芽増殖と生産性

山形県立砂丘地農業試験場

研究のねらい

栄養系デルフィニウムは切り花品質が良く消費が拡大しているが、種苗費が高く導入のネックとなっている。このため、自家増殖が制限されていない「フォルカフレーデン」の挿し芽苗利用による低コスト生産体系を確立した。

研究の成果

① 挿し穂は、メリクロン苗（組織培養苗）を定植し、二度切り終了（5月）後の株を堀上げ、新芽をハサミで切り出す。挿し穂はセルトレイに約１㎝深に挿し、1ヶ月後に発根苗をポットに鉢上げすると、8月に定植可能な苗となる（写真１）。

② この方法で苗を生産すると、苗生産に係る経費は市販のメリクロン苗（約350円）の３分の１となり、種苗費が節減できる。

③ 挿し芽苗を8月に定植すると秋冬期と翌年春～夏に収穫できる。商品収量はメリクロン苗と同等以上である（表１）。

挿し芽適期の株

ハサミで切り出した挿し穂

約1cm深に挿す

定植適期の挿し芽苗

写真１：挿し芽方法

表1　栽培暦

月	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			１０月			１１月			１２月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
前年																						購入メリクロン苗						電　照								
																								定植				＃＃＃＃＃			収　穫					
																								◎◎◎				□□□□□□□□□□								
１年目				電照＃＃＃＃＃						収 穫																				電　照								
										□□□□□	(□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□)																			＃＃＃＃＃			収　穫					
													×××××一部台刈											定植												
													挿し芽 △△△△△											◎◎◎												
２年目				電　照																																
				＃＃＃＃＃			収 穫																														
							□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□																																

問い合わせ先：野菜花き畑作研究担当　℡ 0234-91-1250　sashi@pref.yamagata.jp